

平成24年度 事業報告

総括

平成23年度第2回定期総会にて平成24年度事業計画について総括、各部長からの事業計画案が示され承認されました。各部門においては、この事業計画に基づき実施されてきました。特に、大きな問題もなく、平成24年度事業を終えることが出来ましたことは、会員の皆様のご協力の賜であり、深く感謝申し上げます。

学術部門では、各研究班を中心に事業計画に基づいて実施されました。詳しい内容は、学術部長から報告いたします。学会関連は、第61回日本医学検査学会(平成24年6月9日～10日 三重県総合文化センターで開催)、日本臨床衛生検査技師会中部圏支部医学検査学会 第51回(平成24年11月3日～4日 多治見市セラミックパークMINO)が開催され、会員の多数の参加がありました。中部医学検査学会は、平成24年度より日臨技中部圏支部医学検査学会(第51回)と命名され、日臨技支部学会として岐阜県臨床検査技師会が担当で開催しました。会員783名をはじめとし、招待者、展示関係者、学生、非会員を合わせて1091名の参加人数でした。会員皆様のご協力で盛会に終わることができました。また、賛助会員の皆様には、格別なる御協力をいただき誠にありがとうございました。

平成24年6月23日に行われました岐阜県臨床検査技師会創立60周年記念式典では、岐阜県知事、岐阜県病院協会、日臨技会長の御臨席を賜り、創立60周年記念式典を開催しました。この記念式典において、県知事表彰、会長表彰があり会員22名の表彰がありました。受賞者は、多年にわたり、臨床検査業務に専念され、県民の健康増進、当会の発展に寄与されました功績に対し、表彰されました。同時に、賛助会員のメーカーに対して、今までの多大なご協力に感謝し御礼を申し上げる意味で感謝状を贈呈しました。この式典に一環であります60周年記念誌を編纂中で間もなく発刊できる運びとなっております。

精度管理調査事業は、7月20日に161施設に募集案内を送付、参加施設は72施設(内メーカー14施設)で9月30日に試料発送しました。参加施設各位のご協力、ご支援に深く感謝いたします。今回の精度管理調査は、実施方法が大きく変わり、日臨技が企画作成した精度管理事業・データ標準化事業システムを使用してデータ入力から統計計算、報告書出力まですべてWeb上での入力操作になりました。今年度の報告書が発刊できたところで県医師会へ出向き、岐阜県下の精度管理調査の一元化とデータ標準化を目指した働きかけをしたいと思っております。プール血清作製を始めてから5年目(平成20～24年)となり、引き続きプール血清作製を引き受けていただきました岐阜市民病院中央検査科のスタッフの皆様に対して厚く御礼を申し上げます。また、岐阜市民病院血液内科部長の高橋健先生には、お忙しい中、採血時の立ち会いを快く引き受けていただき感謝申し上げます。

会計部門では、各事業部の節約の努力はありましたが、中部圏医学検査学会、60周年記念事業等特別事業もあったこともあり多くの支出がありました。詳しい報告は、会計部長から報告します。

渉外部門では、岐阜県臨床検査技師会誌、岐臨技会報を会員への情報提供の手段として取り組み発行しました。資料館については、展示室の清掃を兼ねて展示品の調査等は今年度は、実施できませんでした。

岐臨技ホームページは、会員のみならず一般国民向けの広報を拡大するとともに、日臨技ホームページとのリンク及び関連情報を掲載した。学術カレンダー含めて会員の皆様にとって最新の情報となるよう常時更新し運営しました。携帯ホームページはスマートフォン対応、岐臨技ブログの開設、グループウェブの試験運用を実施の準備をしました。

以上、主な事業について報告しました。詳細については各担当部門から報告します。